



ふれあい喫茶



すくすく子ども館



Kaizuka City Master Plan

## Ⅲ 基本計画

# 基本計画の見方

将来像を実現するための施策の名称です。

施策に関する社会の動向や、貝塚市の現状、これまでの取り組み、課題について記載しています。

施策に関する現状を把握するための参考データをグラフで示しています。

この施策を実施することでめざす10年後に「こうありたい」と期待する貝塚市の姿を示しています。

将来像1 心豊かな人が育ち ふるさとに誇りと愛着を感じるまち

## 施策5 誰もが学び、活躍できる環境を確保する

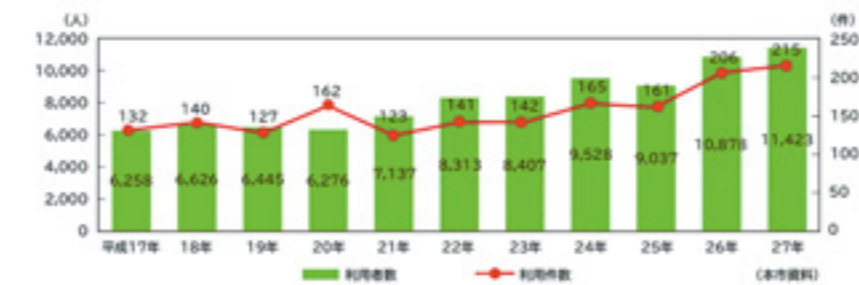
### 現状と課題

超高齢社会において、生涯を通じて誰もがいきいきと過ごすために、あらゆる学びの必要性が高まっています。本市では、生涯学習ハンドブックの作成やコスモス市民講座の開催を通じて、市民の市政への参画と協働、地域課題解決のための学習の推進に努めています。生涯学習活動のさらなる充実を図るため、若年層の参加促進や、障害者への配慮などすべての市民に関わった学習の場の提供が求められています。また、生涯学習における官学協働や、関係機関との多様な連携によって、活動内容の充実や地域課題解決のための人材づくりが求められています。

### 公民館の利用者数の推移



### コスモス市民講座の利用者数及び件数の推移



### 10年後の目標

市民の自主的な学びたい思いをかなえる体制が確保され、学びを通じて、ふるさと貝塚への愛着を深めるとともに、地域課題を解決するために活躍できる人材育成が図られています。

## 10年後の目標に向かっての主な取り組み

### 市の取り組み

- すべての市民に対し、生涯学習に関する情報を効果的に提供します。
- コスモス市民講座は、市民が市政に参画し、地域課題の解決に取り組む意欲を持てる内容となるよう充実を図ります。
- 社会教育機関は、互いに連携することで効果的に事業を実施し、障害者への配慮を含めた多様な学習ニーズに対応します。また、地域の老人クラブと連携し、高齢者の生きがいづくりにつながる学習の機会を提供します。
- 公民館等における活動が、地域課題に向けた自主的な学習の場となるよう、人材育成や団体相互の連携を進めます。
- 市民の本市への愛着が深まるような学習の機会を提供します。
- 市民図書館においては、デジタル情報の充実等、時代に応じた資料提供に努めるとともに、市民ニーズや地域課題に応じたコーナー設置を図るなど、図書館の利用促進に取り組めます。
- 家庭・地域の教育力向上をめざして、地域と連携し、地域で活動するボランティアを育成しながら、活動の奨励・支援に取り組めます。
- 自然遊学館及び善兵衛ランドといった体験型学習施設では、子どもから大人まで楽しく学べるプログラムの充実を図ります。

### 市民・団体・事業所等の取り組み

- 活字離れにならないよう心がけ、読書を通じた豊かな人生観を身につけます。
- 社会教育機関が実施した講座やイベント等をきっかけとして組織された団体やグループが独自の活動を展開、発展させて、地域づくりに積極的に取り組みます。
- 地域で活動する各種団体は、地域の課題解決に向けて、相互に連携しながら地域社会における生涯学習の場づくりを行います。

10年後の目標を実現するために市が取り組むこと、また市民・団体・事業所等に取組みを期待することについて示しています。「市民・団体・事業所等の取組み」欄は、それぞれが主体的に取り組んでいただくことへの期待を込め、『～します』と表現しています。

主な取組みを推進するにあたり、特に関連する施策を示しています。

## 主な関連施策

施策名	関連する内容
施策10 高齢者がいきいき暮らせる地域をつくる	○高齢者が参加しやすい学習機会を提供することで、生きがいづくりや地域の担い手づくりにつながる。
施策12 市民主体の福祉活動を活性化	○生涯学習を通じて得た知識や技能を地域の活動に還元する。

## 成果を測る主な指標

指標	概要	現状	方向性
コスモス市民講座の利用者数	コスモス市民講座の延べ利用者数	11,423人 (平成27年度)	↗

分野別計画等：貝塚市生涯学習推進計画、貝塚市子ども読書活動推進計画

施策に関連する分野別計画等を示しています。

施策の成果を図る指標を示し、現状値については、本計画の作成時点で把握できる数値を記載しています。また、方向性は向上をめざすものは「↗」、減少・縮小をめざすものは「↘」、維持するものは「→」で表しています。



天然記念物 和泉葛城山ブナ林



二色の浜海水浴場

### Ⅲ 基本計画

将来像  
1 心豊かな人が育ち  
ふるさとに誇りと愛着を感じるまち

## 施策1 支援を要する子育て家庭を支える

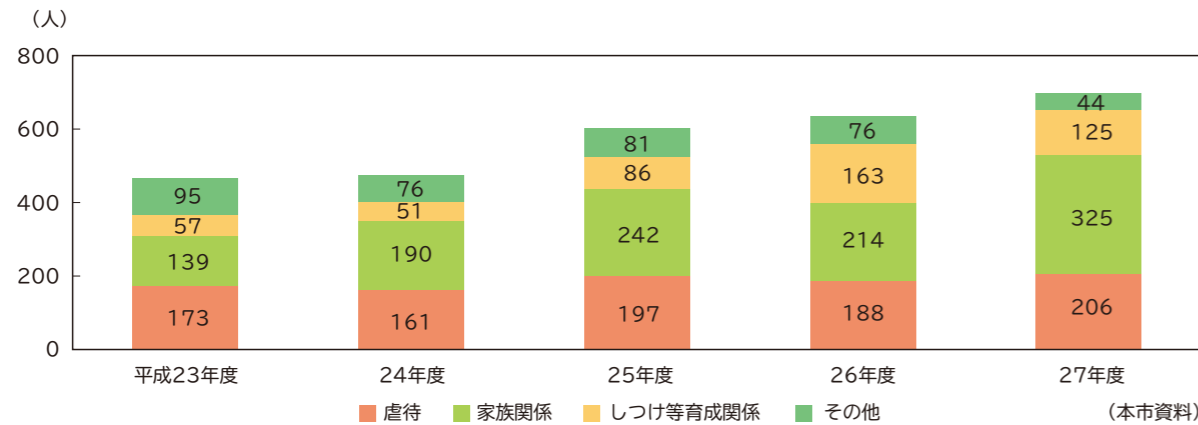
### 現状と課題

ひとり親家庭の増加や子どもの貧困問題など、社会的・経済的な支援を必要とする子育て家庭が増加しています。

子どもの健康管理と健全な育成を図るため、児童手当や児童扶養手当、子ども医療費助成などの経済的な支援と合わせ、就労支援や資格取得支援、相談体制の確立などの幅広い支援が必要となっています。

また、児童虐待件数が増加し、その内容も深刻化する中、子どもを虐待から守る市民の意識を高めるとともに、潜在的な虐待の早期発見や防止のため、教育や医療などの関係機関との密接な連携が必要です。

#### 家庭児童相談件数の推移



### 10年後の目標

子育てに関する経済的な負担軽減や生活基盤を確立するための制度が市民に認知され、必要とする人が安心して利用でき、子どもを健全に育成できる環境が保たれています。

子育ての悩みを相談できる場が確保され、児童虐待につながる芽を摘み取るネットワークを確立し、万が一虐待が発生した場合、地域ぐるみで早期に解決できる体制となっています。

### 10年後の目標に向かっての主な取組み

#### 市の取組み

- 子ども医療費助成を継続して実施するとともに、その対象を拡大するなど、すべての子どもが必要な医療を受診できる制度をめざします。
- ひとり親家庭に対するきめ細やかな生活支援や、就労に結びつく資格取得のための支援を行うなど、経済基盤の確立に取り組みます。
- 地域ぐるみで子どもを見守る意識が高まるよう環境整備を行います。
- 教育、医療などの関係機関との密接な連携による児童虐待の防止、早期発見、早期対応に取り組みます。
- 保健師等により妊産婦の全家庭を訪問するなど相談体制を充実させ、出産・育児に悩みを持つ家庭への早期対応に取り組みます。

#### 市民・団体・事業所等の取組み

- 地域が一体となって子どもに気を配り、安全やしつけ、家庭環境などに配慮することで、地域全体で子育てを支援します。
- 相互に交流する場を活用し、ひとり親家庭の孤立を防ぎます。

### 主な関連施策

施策名	関連する内容
施策 2 希望する子育てができる環境をつくる	○ニーズに応じた保育・子育て支援サービスが受けられる。
施策 9 安心できる地域医療体制を構築する	○経済的な理由で必要とする医療を受けられない子育て家庭がなくなる。
施策 14 生活困窮者の自立を支援する	○ひとり親家庭などが、継続した生活困窮状態に陥らない。
施策 30 人権が尊重されるまちづくりを進める	○児童虐待を早期に発見し、対応できる地域となる。

### 成果を測る主な指標

指標	概要	現状	方向性
ひとり親家庭の就労支援件数	母子父子自立支援プログラム策定件数	46件 (平成27年度)	↑

分野別計画等：貝塚市子ども・子育て支援事業計画



すくすく子ども館

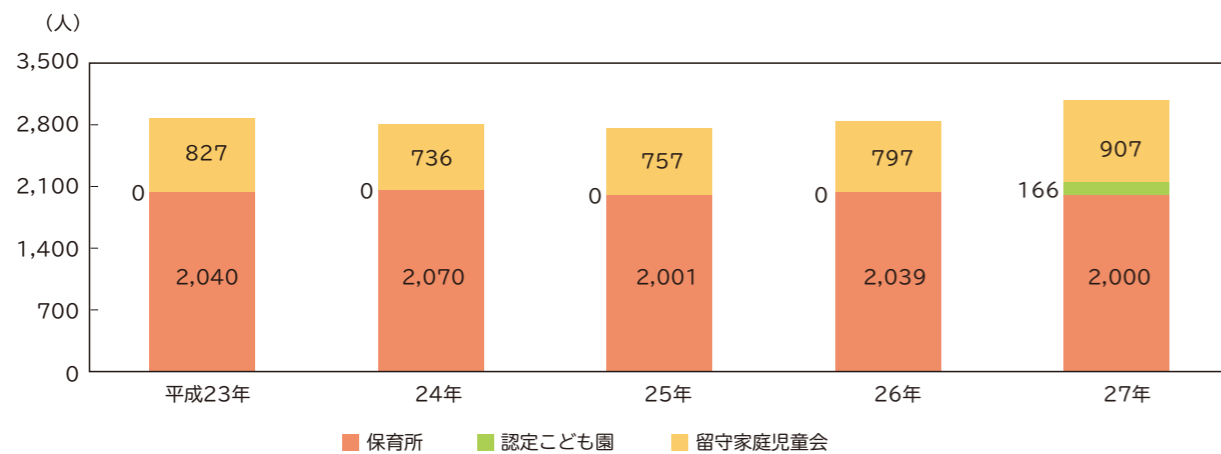
## 施策2 希望する子育てができる環境をつくる

### 現状と課題

核家族化や共働き家庭の増加などにより、保育所・学童保育の利用が増加傾向にある中、保育の担い手の確保や幼保一元化に向けた認定こども園の整備、学童保育の定員拡充など、待機児童をつくらない体制の整備が求められています。また、小学校との円滑な接続を考慮した学びの連続性の確保など、これまで幼稚園が担ってきた就学前教育を、認定こども園がどのように継承するか検討が必要です。

さらに、特別支援を要する子どもは年々増加しており、また支援のニーズも多様化していることから、今後もこれらのニーズに対応していく必要があります。

#### ■保育所等入所児童数の推移



※留守家庭児童会：平成27年から対象者を小3から小6まで拡大(小3まででは800人)

(本市資料)

### 10年後の目標

家庭の状況に応じ、希望する幼児教育・保育、子育て支援のサービスを選択することができ、子育てと仕事の両立や、子どもが健やかに成長できる環境、親が子育てを楽しめる環境が整っています。

市民の力を活用した地域ぐるみの子育てが進み、さらにきめ細やかな子育て支援ができる体制となっています。

### 10年後の目標に向かっての主な取組み

#### 市の取組み

- 保育所及び学童保育に係る年度途中も含めた待機児童の解消と、教育・保育の連携を確保するため、ニーズに応じた受け入れ体制の整備を図るとともに、公立保育所の認定こども園化、地域に根ざした教育・保育施設づくりを行います。
- 働く家庭などの多様なニーズに対応する保育サービスの充実を図るとともに、市ホームページやリーフレット等により保育サービスについての詳細な情報を提供します。
- 各保育所等で園庭開放、保育所体験教室などを開催し、地域の子育て世帯への支援と通所児童との交流を図ります。
- 育児に優しい企業の認定や、男性向け育児講座の開催などを通じ、女性がいそいそと働きながら子育てができる環境を整備します。
- 親世帯との三世同居・近居を促進し、子育て負担の軽減を図ります。
- 新たな教育課題に対応できるよう、教育・保育施設と小学校・中学校との連携を推進し、課題解決に共同で取り組む機会を設け、教職員の資質向上を図ります。
- 障害児加配講師・保育士を継続して配置するとともに、公立幼稚園において3歳児保育と一時預かり保育を実施します。
- 一時預かり事業所利用券の給付や、オムツ替えや授乳ができるスペース「赤ちゃんの駅」の設置を進めるなど、子育て中の女性の外出支援に取り組みます。

#### 市民・団体・事業所等の取組み

- 家庭や地域・企業が連携し、子育てについて地域全体で支え合う体制づくりを推進します。
- 子育て関連講座の開催やサークル活動を通じて、幼稚園や保育所、学童保育の子どもたちが地域社会とふれあうことで、感性豊かな人格を形成していきます。
- 子育てサークルやNPOの活動によって、子育て支援を推進します。
- 事業所は、乳児を子育て中の保護者が気軽に外出できるよう、オムツ替えや授乳ができるスペース「赤ちゃんの駅」の設置に努めます。

### 主な関連施策

施策名	関連する内容
施策 3 未来を切り拓く力と地域への愛着を持った子どもを育む	○学校教育との連携を図ることで、学びの連続性が確保され、切れ目のない育成ができる。
施策 12 市民主体の福祉活動を活性化	○子育て支援を通じた地域の支え合いが醸成される。
施策 27 雇用機会の確保と就労支援を行う	○保育サービスの充実により、子育て中の人が安心して働くことができ、安定的に就労できる。

### 成果を測る主な指標

指標	概要	現状	方向性
保育所入所待機児童数	保育所への入所にあたり、待機を余儀なくされている児童の数	0人 (平成28年4月時点)	→
教育・保育施設入所率 (4歳児・5歳児)	4歳及び5歳の全児童数に占める教育・保育施設入所児童数の割合	95.7% (平成28年4月時点)	↗

分野別計画等：貝塚市子ども・子育て支援事業計画、貝塚市幼稚園再編計画

施策3

# 未来を切り拓く力と地域への愛着を持った子どもを育む

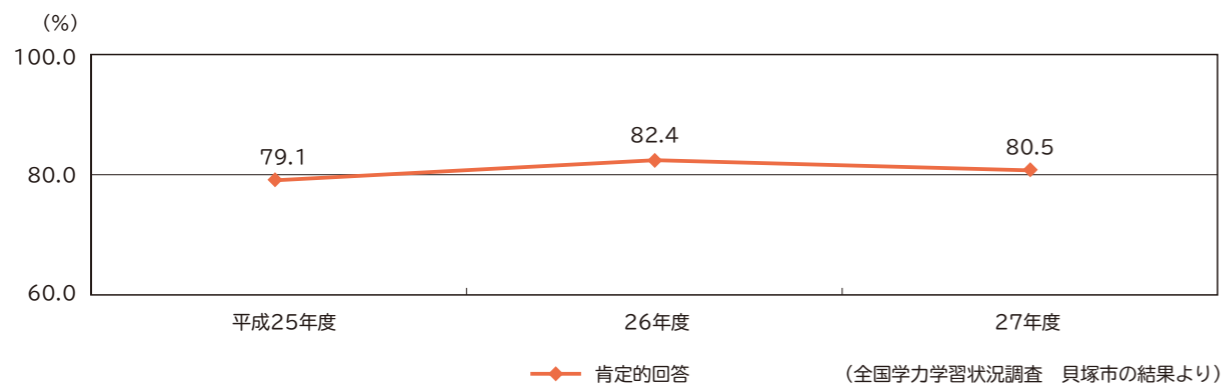
## 現状と課題

次世代を担う子どもたちが経済のグローバル化や高度な情報化など、変化の激しい社会を生き抜くためには、確かな学力と、未来を切り拓いていく力を身に付けることが求められています。

そのためには、教職員のさらなる指導力向上が必要です。英語教育・情報教育の充実やコミュニケーション能力の向上、道徳の教科化による豊かな心の醸成など、新たな課題に対応できる教育を行うとともに、本市がこれまで行ってきた、小中連携や小中一貫など、9年間の学びの連続性を重視した教育が必要です。また、「貝塚学<sup>※</sup>」による郷土愛の醸成、いじめを発生させない環境づくり、安心して教育を受けることのできる施設の計画的な維持・改修などについて、継続的に取り組む必要があります。

※貝塚学:貝塚で学び育ったことを誇らしく語ることができるよう、郷土愛を育む教育。

### ■学校に行くのは楽しいと思うか（小・中学校全体）



## 10年後の目標

子どもたちが夢と希望を描き、可能性を広げ、健やかに成長することができる、質の高い教育環境が確保されています。

ふるさとへの誇りと愛着を持った子どもたちが育ち、新たな地域の活力の担い手となって活躍しています。

多様性を認め合うことができる豊かな心と、思いやりのある子どもが育つ教育環境となっています。

## 10年後の目標に向かっての主な取り組み

### 市の取り組み

- 教育研究センターを中心に教職員研修を充実します。
- 英語教育、道徳教育の研究及びアクティブラーニング（主体的・協働的な学習）やICT（情報通信技術）教育の推進など新しい教育課題に取り組みます。
- 小中連携・小中一貫教育の推進、新たな情操教育の導入に取り組みます。
- 貝塚で学び育ったことを誇らしく語ることができるよう郷土愛を育む教育（貝塚学）を推進します。
- 11月の第3日曜日を「貝塚家族の日」と定め、家庭や地域を対象とした公開講座を開催するなど、家庭と地域の教育力向上に取り組みます。
- 11月の第2日曜日を「貝塚読書の日」と定め、家庭、地域、学校が連携・協力して読書環境の整備に取り組み、子どもの読書活動を推進します。
- 特別支援教育については、専門家チームを各学校に派遣し、インクルーシブ教育（「ともに学び、ともに育つ」教育）システムを構築します。
- 不登校や暴力行為、いじめなどの問題行動の解決に取り組みます。
- 外国人児童生徒に対し、日本語指導等を実施します。
- 幼稚園・小学校・中学校の教育環境に対するニーズや、園児、児童、生徒数の動向を的確に把握し、施設・設備の整備を進めます。
- 小中学生に対し、安全かつ栄養バランスのとれた給食を提供するとともに、アレルギー対応を充実します。

### 市民・団体・事業所等の取り組み

- 家庭や地域は学校と連携し、教育力向上に努めます。
- 家庭において読書習慣の形成に取り組みます。
- 家庭におけるいじめ防止や人権尊重の教育を進めます。
- 地域において児童の通学の安全のために見守り隊活動を充実します。

## 主な関連施策

施策名	関連する内容
施策 2 希望する子育てができる環境をつくる	○幼児教育との連携を図ることで、学びの連続性が確保され、切れ目のない育成ができる。
施策 11 障害者（児）が自分らしく暮らせる地域をつくる	○インクルーシブ教育により、ともに学びともに育つ意識を醸成する。
施策 30 人権が尊重されるまちづくりを進める	○道徳の授業やいじめ防止の取り組みにより、児童・生徒の心を思いやる心を醸成する。

## 成果を測る主な指標

指標	概要	現状	方向性
学力調査における平均正答率の全国との比較	全国学力学習状況調査での全国の平均正答率と本市の平均正答率との差（一教科あたりの平均）	-0.8ポイント (平成27年度)	↑
学校が楽しいと回答した小中学生の割合	全国学力学習状況調査において「学校へ行くのが楽しい」と回答した本市の小中学生の割合	80.5% (平成27年度)	↑

分野別計画等：貝塚市いじめ防止基本方針

施策4

# 青少年が健全に成長し、活躍できる地域をつくる

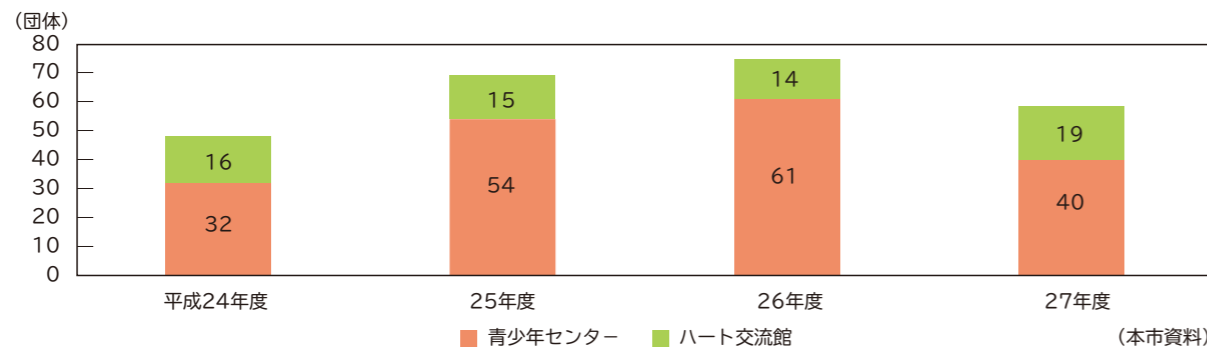
## 現状と課題

いじめや不登校、インターネット上のトラブル、深夜徘徊、ひきこもり、ニートといった青少年に関する問題は多様化かつ深刻化しており、背景には、核家族化や情報化社会の急激な進行、地域社会における大人の指導者不足が考えられます。

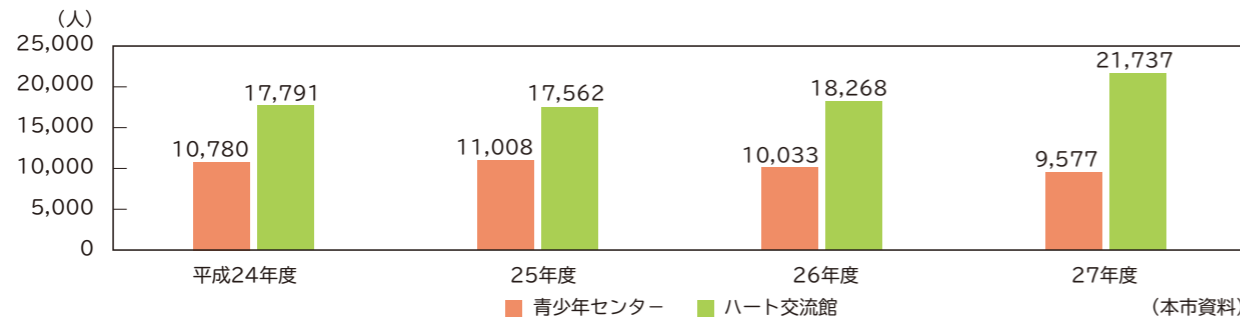
本市では、青少年健全育成関係団体による、大人と子どもとの人間関係の構築をはじめ、規範意識の醸成、PTA や子ども会活動を通じた地域でのつながりづくりなどの取組みが活発に行われてきましたが、いずれも担い手や指導者が不足しており、後継者を育成し活動を継続させることが必要です。

放課後や休日における子どもの居場所づくりについて、既存の市の事業に加え、市民や地域ボランティアによる主体的な取組みが求められています。

### ■青少年活動実施団体数



### ■講座・イベント参加者数



## 10年後の目標

地域の子どもは地域で見守り育てるという意識が高まり、地域団体の多様な連携と自主的な活動が進んでいます。

放課後や休日における子どもたちの居場所があり、そこで友人たちと過ごす子どもたちがコミュニケーション能力を高め、次の世代の指導者として育っています。

青少年が健全に成長し、地域でいきいきと活躍しています。

## 10年後の目標に向かっての主な取組み

### 市の取組み

- 青少年健全育成について、家庭・地域・学校・関係機関と連携した啓発活動を推進します。
- 青少年健全育成関係団体の活動を支援するとともに、新たな団体・個人が活動に取り組むよう啓発を行います。
- 地域における青少年育成の指導者やボランティアの人材発掘、育成を行います。
- 悩みを抱える青少年の健全育成のため、家庭・地域・学校の連携を深めます。
- 子どもの居場所づくりと、協調性やコミュニケーション力を高める体験活動を行います。

### 市民・団体・事業所等の取組み

- 大人としての責任と自覚ある生き方を青少年に示します。
- 青少年健全育成関係団体は、地域における人間関係の構築、規範意識の醸成のための事業を実施します。また、後継者の育成に努め、組織の強化を図ります。
- 地域で活動する各種団体は、青少年を有害環境から保護する活動や、子どもの安全を見守る活動などを通じ、自主的な活動と組織の強化に努めます。

## 主な関連施策

施策名	関連する内容
施策12 市民主体の福祉活動を活性化する	○青少年健全育成の取組みを通じたボランティア活動の活性化につなげる。
施策14 生活困窮者の自立を支援する	○ニート、ひきこもりを解消することで、生活困窮に陥らないようにする。

## 成果を測る主な指標

指標	概要	現状	方向性
青少年活動実施団体数	青少年センター・青少年人権教育交流館における青少年活動実施団体の数	59 団体 (平成27年度)	↑
講座・イベント参加者数	青少年対象の講座・イベントの参加者数	31,314 人 (平成27年度)	↑



成人のつどい

施策5

# 誰もが学び、活躍できる環境を確保する

## 現状と課題

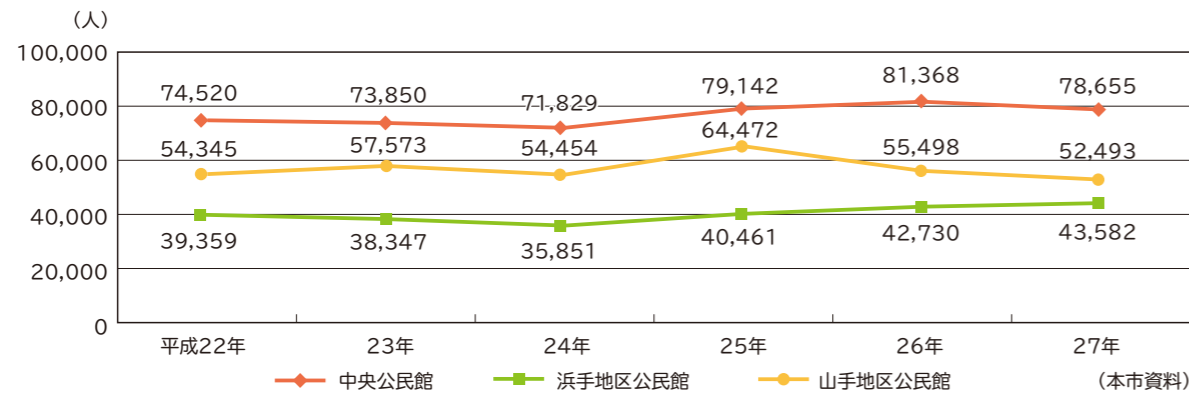
超高齢社会において、生涯を通じて誰もがいきいきと過ごすために、あらゆる学びの必要性が高まっています。

本市では、生涯学習ハンドブックの作成やコスモス市民講座の開催を通じて、市民の市政への参画と協働、地域課題解決のための学習の推進に努めています。

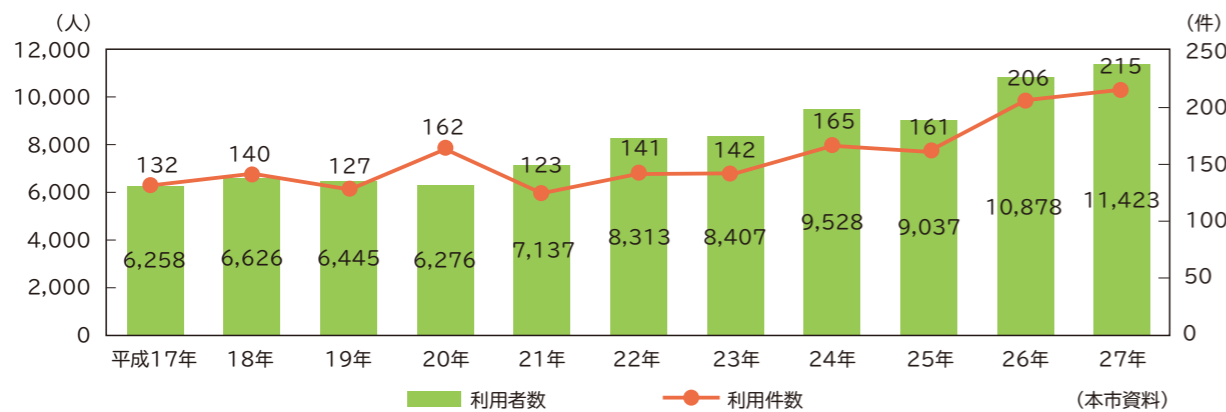
生涯学習活動のさらなる充実を図るため、若年層の参加促進や、障害者への配慮などすべての市民に開かれた学習の場の提供が求められています。

また、生涯学習における官学協働や、関係機関との多様な連携によって、活動内容の充実や地域課題解決のための人材づくりが求められています。

### ■公民館の利用者数の推移



### ■コスモス市民講座の利用者数及び件数の推移



## 10年後の目標

市民の自主的な学びたい思いをかなえる体制が確保され、学びを通じて、ふるさと貝塚への愛着を深めるとともに、地域課題を解決するために活躍できる人材育成が図られています。

## 10年後の目標に向かっての主な取り組み

### 市の取り組み

- すべての市民に対し、生涯学習に関する情報を効果的に提供します。
- コスモス市民講座は、市民が市政に参画し、地域課題の解決に取り組む意欲を持てる内容となるよう充実を図ります。
- 社会教育機関は、互いに連携することで効果的に事業を実施し、障害者への配慮を含めた多様な学習ニーズに対応します。また、地域の老人クラブと連携し、高齢者の生きがいがいづくりにつながる学習の機会を提供します。
- 公民館等における活動が、地域課題に向き合った自主的な学習の場となるよう、人材育成や団体相互の連携を進めます。
- 市民の本市への愛着が深まるような学習の機会を提供します。
- 市民図書館においては、デジタル情報の拡充等、時代に応じた資料提供に努めるとともに、市民ニーズや地域課題に応じたコーナー設置を図るなど、図書館の利用促進に取り組みます。
- 家庭・地域の教育力向上をめざして、地域団体と連携し、地域で活動するボランティアを育成しながら、活動の奨励・支援に取り組みます。
- 自然遊学館及び善兵衛ランドといった体験型学習施設では、子どもから大人まで楽しく学べるプログラムの充実を図ります。

### 市民・団体・事業所等の取り組み

- 活字離れにならないよう心がけ、読書を通じ豊かな人生観を身につけます。
- 社会教育機関が実施した講座やイベント等をきっかけとして組織された団体やグループが、独自の活動を展開、発展させて、地域づくりに積極的に取り組みます。
- 地域で活動する各種団体は、地域の課題解決に向けて、相互に連携しながら地域社会における生涯学習の場づくりを行います。

## 主な関連施策

施策名	関連する内容
施策10 高齢者がいきいき暮らせる地域をつくる	○高齢者が参加しやすい学習機会を提供することで、生きがいづくりや地域の担い手づくりにつなげる。
施策12 市民主体の福祉活動を活性化	○生涯学習を通じて得た知識や技能を地域の活動に還元する。

## 成果を測る主な指標

指標	概要	現状	方向性
コスモス市民講座の利用者数	コスモス市民講座の延べ利用者数	11,423人 (平成27年度)	↑

分野別計画等：貝塚市生涯学習推進計画、貝塚市子ども読書活動推進計画



## 施策6 市民の自主的な文化活動を支援する

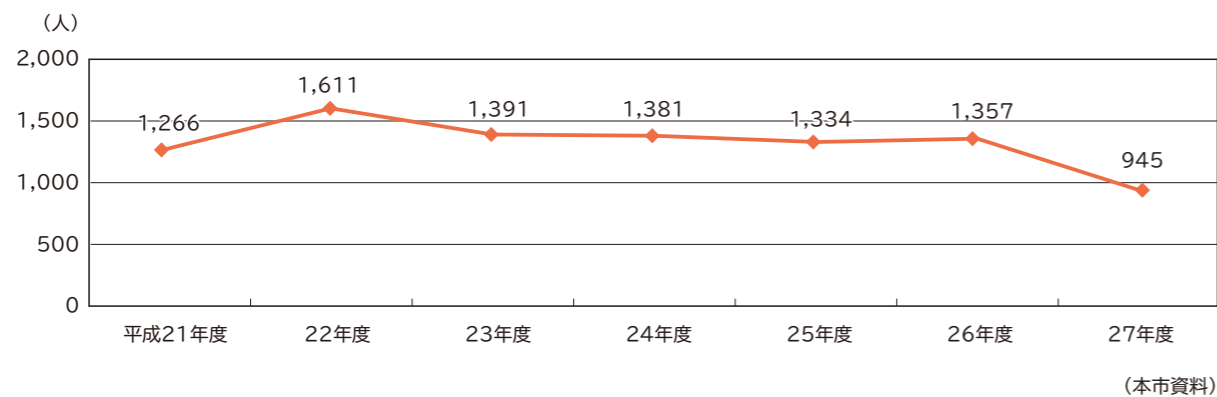
### 現状と課題

本市では、公民館や地域において行われている、市民グループやクラブなどによる様々な文化活動に対し、その活動を発表する場を提供するとともに、市民文化会館（コスモシアター）においては、一流アーティスト等による公演を開催するなど、市民が芸術・文化にふれる機会も提供しています。

こうした文化活動は、参加者の固定化や高齢化の傾向がある一方、市民グループによる新しいアートの動きも見られます。今後はあらゆる年代の市民が自主的に文化活動を展開することを促進していく必要があります。

また、市内で創作活動を行う人を顕彰するなど、既存のジャンルにとらわれない文化活動を行う人材を発掘し、市民が多様な文化にふれる機会を提供することが求められています。

#### 市民文化祭来場者数の推移



### 10年後の目標

文化活動に対する多様な活動の場や発表の機会があり、文化に親しむ環境が整っています。これにより文化・芸術に対し意識の高い市民が増え、自主的な文化活動が活発に行われています。

市民が質の高い多様な芸術・文化にふれる機会があり、文化が生活にうるおいと安らぎを与えています。

### 10年後の目標に向かっての主な取組み

#### 市の取組み

- 市民の文化活動の場や文化芸術にふれる機会を増やし、文化活動を支援・促進します。
- 市内文化団体の自立と活性化を促し、市民の手による文化イベントの開催や団体相互のネットワーク化を図るなど、市民主体の文化活動を展開します。
- 市民自らが文化の大切さについて考えるきっかけとなる講座を開催するなど、情報提供を行います。
- 本市にゆかりのある芸術家を発掘し、その活動を市民に周知することにより、市民に質の高い芸術を提供し、市への愛着を深めます。
- コスモシアターをより一層活用し、国内外の文化にふれる機会や、身近に文化を感じる機会を提供します。

#### 市民・団体・事業所等の取組み

- 文化イベントへの積極的な参加により、地域の文化意識を高めます。
- 専門家の指導を受けた個人・団体が、より専門性の高い文化活動を展開します。
- 地域の人材や資源を生かし、市民自らが文化の創造、発信に取り組みます。
- 文化団体は後継者の発掘・育成に努め、異なる分野の団体との交流を図り、活動の活性化を図ります。

### 主な関連施策

施策名	関連する内容
施策 4 青少年が健全に成長し、活躍できる地域をつくる	○文化活動を通じた青少年の健全育成を行う。
施策 10 高齢者がいきいき暮らせる地域をつくる	○高齢者の文化活動を通じて、生きがいづくりを行う。
施策 33 市民参加による協働のまちづくりを進める	○市民主体の文化活動を通じ、まちづくりへの市民参加を促進する。

### 成果を測る主な指標

指標	概要	現状	方向性
市民文化祭来場者数	市民文化祭への来場者数	945人 (平成27年度)	↑
文化の日のつどい来場者数	文化の日のつどい来場者数	406人 (平成27年度)	↑
コスモシアター来場者数	コスモシアター来場者数	123千人 (平成27年度)	↑



貝塚市民文化会館「コスモシアター」



貝塚市民文化祭

施策7

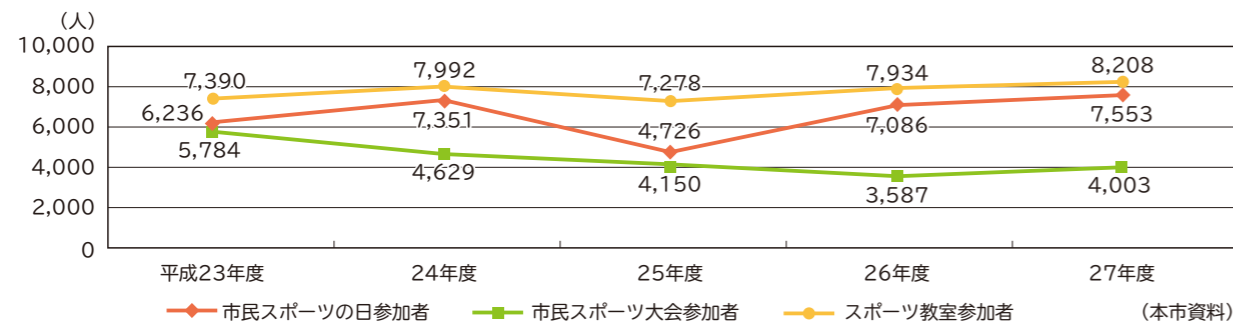
# スポーツを通じた交流・地域づくりを行う

## 現状と課題

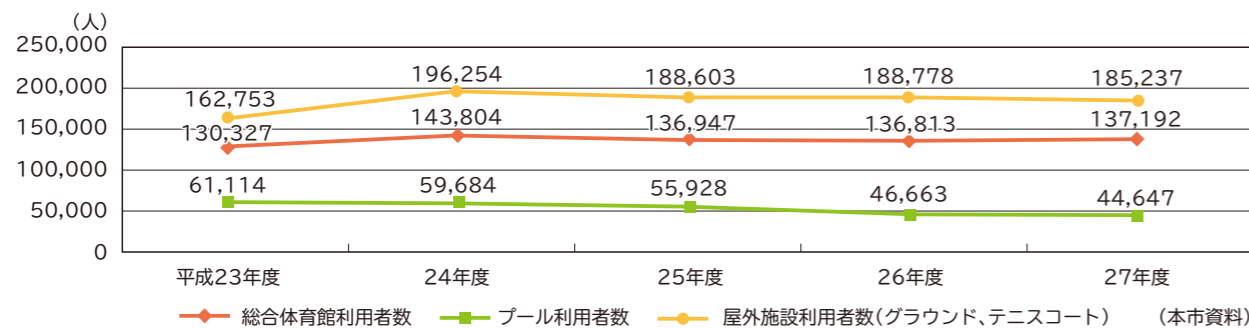
健康寿命の延伸やワーク・ライフ・バランスの推進などにより、多くの市民は健康づくりや体力づくりに関心を持ち、スポーツを通じた仲間づくりや生きがいづくりを望んでいます。こうした中、多くの市民が一層スポーツに親しみ、健康増進を図るためには、きっかけづくりや指導者の育成、企業や学校との連携による産学官協働のスポーツ振興など、幅広くスポーツに接する場をつくる必要があります。一方、市のスポーツ施設は老朽化が進んでおり、施設のあり方を見定め、計画的に改修を行う必要があります。

本市は古くから企業スポーツが盛んであり、スポーツに親しむ文化が地域に根付いています。東京オリンピックの開催に向け、競技スポーツへの関心も高まっており、市内の企業スポーツチームや民間スポーツ事業者との連携・協力により、指導者の育成やスポーツ活動の場づくりなど、さらに機運を高めていくことが望まれます。

### ■スポーツイベントの参加者数の推移



### ■市内体育施設の利用者数の推移



## 10年後の目標

誰もが生涯にわたり多様なスポーツを楽しむことができ、地域社会において、スポーツを通じた健康づくりや仲間づくりによる交流の輪が広がっています。

スポーツ団体のみならず、地域の各種団体や企業などが連携しながら、生涯スポーツや地域の活性化を進めています。

## 10年後の目標に向かっての主な取組み

### 市の取組み

- スポーツ施設に対する市民のニーズを捉え、効率的な施設の整備・運営を行います。また、管理運営手法についても研究を進めます。
- 本市の立地や自然環境などを生かしたスポーツの普及に取り組みます。
- 市民ニーズを反映させたスポーツ・レクリエーション大会、スポーツ教室を開催し、スポーツを楽しむ機会の充実に取り組みます。
- スポーツを通じて、企業スポーツクラブや民間事業者と地域団体等の交流を促進するとともに、市民の健康増進・地域活性化、産業振興につながるような取組みを進めます。

### 市民・団体・事業所等の取組み

- 健康増進のため、スポーツに関心を持ち、生涯スポーツに取り組みます。
- スポーツ関係団体は自ら研修に参加し、地域スポーツの振興に向けて意識醸成を図り、指導力、企画力の向上に取り組みます。
- スポーツ関係団体と地域団体や企業などが連携して、地域社会において、スポーツを通じたまちづくりに取り組みます。

## 主な関連施策

施策名	関連する内容
施策 8 生涯を通じた主体的な健康づくりにつなげる	○スポーツを通じて、健康づくりの意識を高める。
施策 33 市民参加による協働のまちづくりを進める	○スポーツ振興を通じた地域活動を協働のきっかけとする。

## 成果を測る主な指標

指標	概要	現状	方向性
市主催のスポーツイベントの参加者数	市が主催する各種スポーツイベントに参加した延べ人数	19,764人 (平成27年度)	↑
施設の利用者数	市内体育施設を利用した延べ人数	367,076人 (平成27年度)	↑



日本生命野球部練習グラウンド



ビーチ & パークラン